

## 母が入所して

橋本雅弘

母は、認知症を発病して以来約十二年、要介護五の認定を受けてから約四年になります。

悪霊に取りつかれたような攻撃性の強い母に耐えかねて、平成十九年、老健と特養（ちどりではありません）の二度にわたり施設に入所しましたが、老健は事実上入所継続を拒否されて退所、特養は見るに見かねて十日で退所させました。

当時の施設内の母は、介護拒否がひどく大変なご迷惑を掛けているようでしたが、母自身が極度の不安の中でボロボロに壊れていくのを見て心配になり、毎日面会に行き、食事の介助をしながら一緒に過ごす時間を持ちました。

面会に行くと嬉しそうにする反面、自分の現在の苦境に対する恨みごとを言いました。

「あんたは、嘘つきや。評判悪いよ。みんなが言ってる。」

衰えた頭で精一杯考えた反撃でした。頻繁に面会に行く家族に対し、施設側も当惑していました。本人と家族を一緒に相手をする事になり、やりにくい面があるのでしよう、母と家族は孤立感を感じていました。

施設を退所以来四年、宅老所とデイサービスを利用しながら、母に寄り添って生きてきましたが、今後のこと考え、去年四月より一ヶ月に一回「ちどり」のショートステイを利用し始めました。

自宅から徒歩七、八分の距離にあり便利なため、毎日夕方食事介助をしに行くと、私の姿を認めた施設内の全職員の方が「有難うございます。」と挨拶してこられます。当惑して驚きました。

「有難うございます」は、全館でよく徹底されており、廊下すれ違

初対面の職員の方からも挨拶を受けております。施設の運営理念のようなものを感じました。

母も毎回ショートから元気に帰ってきました。元気な母を見て、ここは母と家族を受け入れてくれると思い、病状が進み攻撃性が弱まってきたのを機に、昨年十月「ちどり」に入所して、五ヶ月程たちました。

ほぼ毎日面会に行っています。「有難うございます」という言葉に迎えられ、送られています。ユニットから立ち去るときは、「お気をつけて」と言われます。

入所して一ヶ月程経過した時、ある女性介護士職員の方から「お母さん、愛されキャラですよ」と言われました。愛されるキャラクターを現代風に言うところなることは、おじさんの私にも解りました。以前に比べ穏やかになったとはいえ、手に余る要介護者の母が、うまくやっていけるだろうかと不安な気持ちを持っていた家族にとって、これは嬉しい言葉でした。



夕食前のため、お腹が空いて機嫌の悪い母を、優しく相手をしてなだめる介護士のかたの姿もよく目にします。受け入れられて優しく大切にされている母を見るのは、嬉しいものであり、ホッとします。

―「有難うございます」―

最近になって、仕事中でも常に頭の中に母の影がちらついているような、精神的負担から開放されつつあります。日常生活の中で母の事を忘れていた時間が長くなりました。

夕方面会に行くと、母の部屋で一時間程過ごします。夕食の介助をしたり、歩行訓練をしたり、顔にクリームを塗ったり、頭をなでたりします。その間できるだけ話かけ、激励し「えらいね、よくやってる」とほめてやります。殆ど反応はありませんが、ごく稀に笑います。何か伝わるものがあるようです。

このような平和で安らいだ時間が長く続くと良いのですが。

音楽家の千住明さんが、テレビ番組で次のように言っています。

長い間実母の介護をし、最後は自分の腕の中で息を引き取るのを見届けたとき、何ともいえない充足感を味わったそうです。これは自己満足とはいえ、介護する物にとって、理想的な結末です。

十二年間介護して、やっと終の棲家にたどり着きました。母には、静かな晩年を、そして眠るような最後を迎えさせてやりたいと思います。私は最後まで親孝行息子を演じたい。

今回の冒頭記事は雲雀ヶ丘ユニットに入居頂いているご家族からご寄稿いただきました。ご協力誠にありがとうございます。（杉本）

## ユニット報告

### 仁川・武庫川ユニット

二月十四日に おやつレクリエーションを行いました。

食べやすいカスタードクリームにチョコレートのトッピング



グをして、バレンタインの雰囲気も出してみました。皆様、口にしやすいご様子で、アツと言う間に召し上りました。感想を伺うと「食べやすく、おいしかったですよ。」と笑顔で答えられました。（杉本）

### ふじが丘・すみれが丘ユニット

余暇活動として歌の会を開いています。

塗り絵をされるご利用者も居られますが、歌が好きにご利用者も多いので、大変盛り上がります。

最初は「歌下手からやめとくわ」と言われる方もみなさんが歌い始めると、楽しそうに歌われます。

当ユニットでは、レクリエーションの検討に特化した会議も開催し、明るい過ごし方を探求しています。（鍛冶）



## デイサービス

三月一日に、全国の福祉施設や病院を中心に活動されている、松尾貴臣さんによる歌のミニコンサートを開催しました。



坂本龍馬をイメージした衣装でギターを弾かれ、懐かしい歌やオリジナルの楽曲を披露して頂きました。デイルームには、特養やグループホームのご利用者も合わせ、約四十名のご利用者が見に来てくださり、大いに盛り上がりました。(森本)

## 委員会報告

### サービス向上・研修委員会

二月八日(水)開催  
二月の定例会議では、満足度調査の結果を踏まえ、清掃や環境整備について話し合いました。

主に、各居室とリビングにおけるご意見を多くいただきましたので、それに対して各ユニットで具体策を一つ決めて取り組んでいき、少しでも

も改善していけるようにと考えております。(市枝)

研修委員会では、晋栄福祉会主催の高齢者虐待ワーキングチームによる、高齢者虐待防止をテーマとした研修を行いました。

ワーキングチームが制作したDVDを教材にし、日々の言動や対応について見直す機会となりました。今回の研修を通し、あらためて職員の意識を律していきたいと考えています。(福山)

### 給食衛生感染症対策委員会

二月二十一日(火)開催  
今月の給食委員会では、二月に行った『カニ鍋』について意見を出し合いました。ポン酢で食べるスタイルの鍋だった為、ご利用者に食べて頂く際に「味がなかった」や「すっぱかった」また「加熱しすぎてはさばさだった」という意見があり、それぞれの職員の調理によって感想にはらつきがあったように思います。



今後は調理方法をユニットに示し、一定の味付けで提供したいと考えています。

二月二十四日は『すき焼き』、三月三日は『ちらし寿司』を実施し、四月は『出張握り寿司』を予定しています。

感染症委員会では現在の感染症状況の把握と、施設としての対応の確認を行いました。

今月の委員会では、体調不良の際は職員が媒体とならないようにするためにも、医務への連絡をしっかりと行うよう、意識付けを行いました。

また、時期など関係なく、日頃から基本的な感染症対策の手洗い、うがい、手指消毒の徹底を心がけるよう促しました。(岡村)

### 地域交流・広報委員会

二月二十二日(水)開催  
二月の地域交流委員会では、世代間交流の実施に向けて協議をいたしました。

地域の子供達と、当施設のご利用者が交流をはかり、お互いにとって

良い刺激となるよう企画をしていきたいと思えます。

現在は地域の保育園との交流について協議しており、五月の中旬の実施を目指して調整をすすめています。

広報委員会では、なごみの月ごとの担当を確認し平成二十四年度の各担当を決めました。

また、お試しで、一階自動販売機上に広報委員会のメンバーと活動報告を掲示し、職員やご利用者・ご家族のご意見を伺いたいと考えています。(杉本)

## 事故防止委員会

二月二十八日(火)開催

二月の委員会では、いかに服薬に関する事故をなくすか協議を行いました。

協議の結果、薬袋に表記してある名前・日付の読み上げ確認を再度徹底し、薬はテーブルに置かない(服薬出来ない場合は所定の保管場所に戻す)等の方法を振り返りました。

各ユニットで事故防止委員が中心となり、対策を周知徹底する事で、

服薬事故がなくなるよう努めていきます。また、三月には主に新入職員を対象とした服薬研修を予定しております。(仲田)

## ユニットリーダー変更の

### お知らせ

平成二十四年三月一日付で変更となったユニットリーダーをお知らせします。

逆瀬川・星の荘ユニット

市枝直也(いちえだ なおや)

青葉台・五月台ユニット

池下恭平(いけした きょうへい)

ふじが丘・すみれが丘ユニット

岡村隆志(おかむら たかし)

一日も早く、ご利用者の状況把握に努め、ご要望にお応えしてきたいと思えますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## お詫びと報告

「共用部エアコン不具合について」修理完了までに時間を要しました事と、修理の経緯についてのご説明不足により、ご利用者、ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。今後は、迅速に対応するよう努めてまいります。(森本)

本件の故障(エラー表示が出ない故障)に伴い、一部のユニットでは都市ガスによるエアコンが使えず、居室等、電気によるエアコンの稼働を多く必要としました。したがって、電気使用量については前年同月比で一〇・五・八%となり、なかなか節電に至りませんでした。(田中)

## 編集後記

暦の上では春が訪れましたが、天候と気温の安定した日は何時訪れるのでしょうか。季節の変わり目などで体調を崩されない事を願っております。(黒木)

